

第2回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和元年5月22日(水) 午後2時より午後3時50分まで

協議内容

- ・事務局より(資料)東大阪市高齢者地域ケア会議 経過一覧の一部に訂正について説明あり。
- ・全体研修会のチラシ構成について意見交換を行う。定員の記載や会場への行き方等再度構成を行うこととなる。広報については市政だよりへの掲載や事業所部会などの協力もいただきながら広く行う予定。
- ・在宅高齢者介護者リフレッシュ事業について意見交換を行う。場所については去年と同じU・コミュニティホテルで良いのではないかと。初参加の人を優先しながら、男性参加者も増やしていきたい。
- ・東大阪市認知症本人活動支援ワーキンググループについて、現在メンバー募集をかけており現在4名(田仲委員、介護支援専門員連絡会1名、地域包括支援センター2名)の申し込みがある。
- ・病院とケアマネジャーや地域包括支援センターの連携について意見交換あり。高齢者虐待における病院での個人情報の取り扱いや本人情報を病院に渡すときの一番良い方法などについて話し合われた。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 6/18 地域包括支援センター担当職員研修「法テラスの業務」
7/12 地域包括支援センター担当職員研修「高齢者宅で発生する火災予防の講習」(中地域対象)
→消防局から依頼あり、高齢者に関わる専門職(ケアマネジャー、ホームヘルパー含む)向けに開催。今後西地区、東地区でも開催予定。
地域包括支援センターの新しいパンフレットを作成中。6月中旬に配布予定。
- ・地域包括支援センター 各地域包括支援センターにて社会資源マップを作成しており、包括によって進捗状況は変わるが、完成しているところもある。マップには高齢者に関わる様々な機関や社会資源が掲載される予定。完成、配布する際には基本的に掲載許可を取ることになっているため、各機関の協力をお願いしたい。
- ・介護支援専門員連絡会 6/12 スキルアップ研修
6/25 会員同士の交流会
7/31 枚岡医師会との交流会
- ・布施医師会 5/9 医師会と地域包括支援センターの意見交換会
5/18 布施緩和ケア研修会「多職種で行うエンドオブケア研修—聴く力」53名参加
認知症初期集中支援チーム 80件エントリー/40件終了 チーム員会議月2回開催
- ・河内医師会 5/24 理事会開催
5/18 国際シンポジウム「認知症の人にやさしい街をめざして」参加
本人の困っていることに焦点を当てることで頭の整理をすることができた。
9/7 市民シンポジウム「在宅における不眠と尿の話」開催予定
→高齢者地域ケア会議への後援名義依頼あり、了解をもらう。
- ・東大阪医療センター 5/12 ふれあい祭り 相談ブースを開設
7/2 加納校区女性部高齢者見守り隊を対象に高齢者の見守りに関する講演を開催予定
- ・社会福祉協議会 5/23 シニア活動実践塾「悠友塾」開講式 4コース定員80人→99人参加
新たな社会参加につながるようすすめていきたい。
- ・保健所 健康増進法の改正に伴う大阪府受動喫煙防止条例(2019年7月～スタート)について
- ・地域包括ケア推進課 楽しくトライ体操推進員の会が、楽しくトライ体操の新しいDVDを作成した。
推進員が出演し楽しい雰囲気の内容となっており、普及版として活用。
東大阪市三医師会在宅医療マップ&ハンドブック完成。3500部作成し、市内の

病院や診療所（一部市外の病院も含む）、保健センター、福祉事務所、地域包括支援センターへ配布している。ケアマネジャーには意見交換会や医師会主催の研修会を通じて配布する予定。市民への配布予定はなく、専門職用として活用いただきたい。

5/9 医師会と地域包括支援センターの意見交換会

各エリアの情報交換を行った。短い時間で十分な検討時間はとれなかったかもしれないが、多職種連携研修会全体研修会の内容に活かしていきたい。

医介連携事業として3医師会に委託し研修を計画しているが、地域医療支援病院企画のものも含めて時期や内容が重複することがある。今後在宅医療・介護連携支援コーディネーターを中心に日程等を調整することでより効果的な研修を企画していきたい。